

---

# 会社説明資料

－ 2025年3月期第2四半期 －

2024年12月

株式会社 **じもとホールディングス**

株式会社 **きらやか銀行**    株式会社 **仙台銀行**

# 目次

## 1. 新体制のスタート

## 2. 2025年3月期第2四半期グループ決算の状況

① 決算の概要	…	2
② 資金利益	…	3
③ 貸出金・預金	…	4
④ 有価証券	…	5
⑤ 役務取引等利益	…	6
⑥ 経費、経営効率化	…	7
⑦ 与信関係費用、金融再生法開示債権	…	8
⑧ 自己資本比率、ROE	…	9
⑨ 中期経営計画目標と実績	…	10
⑩ 2025年3月期業績予想と配当予想	…	11

## 3. 中期経営計画の概要と進捗状況

① 前計画までの成果と課題	…	13
② 経営理念と目指す姿	…	14
③ 中小企業支援の深化	…	16
④ 業務変革（DX）	…	17
⑤ 経営管理	…	18
⑥ SBIグループとの主な連携状況	…	19
⑦ 新体制の基本方針と黒字化への新戦略 （きらやか銀行）	…	20

## 4. じもとグループのサステナビリティ

① サステナビリティ基本方針	…	21
② サステナビリティ投融資方針	…	22
③ 中小企業支援を通じたサステナビリティ	…	23
④ 主要課題への取組み	…	24
⑤ 人事戦略、投資	…	26
⑥ トピックス	…	30

# 1. 新体制のスタート

## きらやか銀行

- ◆きらやか銀行は、2024年9月27日株主総会の承認を得て、西塚新頭取を中心とする新たな体制がスタートしました。
- ◆経営理念の「“私たちの想い”本業支援を通して『地元の中小企業』と『そこに働いている従業員の皆さま』から喜んでいただき、地域と共に生きること」は、不変のアイデンティティであり、引き続き、地域経済の発展に寄与してまいります。
- ◆西塚新頭取のもと、「考動改革！～意識を変える・行動を変える～」をスローガンに掲げ、地域社会や取引先の期待に応えるため、本支店の役職員が一体となり、早期の業績回復を実現してまいります。
- ◆当行は山形県で唯一の相互銀行を源流としており、地域の中小企業と密接な関係を築いてまいりました。山形県に存在する数多くの中小企業を支援することが当行の使命であります。多くのお客さまを訪問し、お話を聞き、一緒にニーズや課題を解決することで、お客さまに信頼され、ともに将来を創る銀行を目指してまいります。



## 仙台銀行

- ◆仙台銀行は、2024年6月20日株主総会の承認を得て、坂爪新頭取を中心とする新たな体制がスタートしました。
- ◆坂爪新頭取のもと、仙台銀行の良さである風通しの良い企業風土をこれからも大事にしていきながら、良い点をさらに伸ばすため、以下の4つのことに取り組んでまいります。
  - ①事業者の成長に貢献し、お客さまを増やし続けたいと考えております。中小企業の成長に向けて、スピード対応やオーダーメイド型融資で貢献してまいります。
  - ②個人のお客さまに便利なサービスで、より身近な存在になりたいと考えております。IBやアプリの拡充により、使い勝手を向上させるほか、多様なライフコンサルティングを提供してまいります。
  - ③宮城県の地方創生に貢献したいと考えております。仙台、宮城の経済は大きな発展可能性があり、SBIグループとの連携を生かし、地域に還元してまいります。
  - ④職員が楽しみながら仕事に取り組み、自己実現と成長を後押しする会社であり続けたいと考えております。経営ビジョンとして「人で勝負する銀行」を掲げており、これを発展させてまいります。
- ◆これからも、宮城県の発展のために、絶えず「チャレンジ」する銀行を目指してまいります。



---

## 2. 2025年3月期第2四半期 グループ決算の状況

# ① 決算の概要 – 黒字へ転換、HD中間純利益は14億円 –

- **経常収益**は、きらやか銀行および仙台銀行において増収となりましたが、連結ではきらやかリース等の減収により、前年同期比△122百万円の**19,156百万円**となりました。
- **経常利益**は、きらやか銀行において経費と与信関係費用が減少したこと、仙台銀行において資金利益と役員取引等利益が増加したことなどにより、前年同期比+214百万円の**2,223百万円**となりました。
- **親会社株主に帰属する中間純利益**は、黒字へ転換し、前年同期比△106百万円の**1,414百万円**となりました。

(単位：百万円)

	連結（一部2行合算）		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2024年9月期	前年同期比	2024年9月期	前年同期比	2024年9月期	前年同期比
<b>経常収益</b>	<b>19,156</b>	△122	<b>8,867</b>	<b>224</b>	<b>7,767</b>	<b>8</b>
業務粗利益	13,029	144	6,958	46	5,997	133
資金利益	11,616	144	5,905	17	5,722	119
役員取引等利益	1,285	△14	904	9	299	19
その他業務利益	126	13	148	19	△24	△6
うち国債等債券損益 ※	△47	67	△25	△11	△22	79
経費（△）	10,821	△419	5,442	△380	5,127	△4
コア業務純益 ※	2,433	496	1,541	438	892	58
<b>コア業務純益（除く投資信託解約損益）</b> ※	<b>2,422</b>	<b>505</b>	<b>1,541</b>	<b>438</b>	<b>881</b>	<b>66</b>
与信関係費用（△） ※	266	296	△93	△368	360	665
株式等関係損益 ※	△0	△110	△141	△139	141	29
<b>経常利益</b>	<b>2,223</b>	<b>214</b>	<b>1,418</b>	<b>598</b>	<b>690</b>	△412
特別損益	△56	△67	△28	△81	△27	14
法人税等合計	777	285	419	166	295	84
<b>親会社株主に帰属する中間純利益</b>	<b>1,414</b>	△106	<b>970</b>	<b>350</b>	<b>367</b>	△482

※きらやか銀行、仙台銀行の2行合算計数です。

## ② 資金利益 – 貸出金利息が増加 –

■貸出金利息は、前年同期比+4.5億円の115.1億円となりました。

きらやか銀行は、中小企業向け貸出が減少しましたが、消費者ローンが増加したことから、前年同期比+1.7億円の58.2億円となりました。

仙台銀行は、住宅ローンや中小企業向け貸出が増加したことから、前年同期比+2.7億円の56.8億円となりました。

■有価証券利息配当金は、両行が引き続き有価証券評価損の抑制を優先したことから、投資信託分配金が減少し、前年同期比△0.5億円の3.0億円となりました。

(単位：億円、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2024年9月期	前年同期比	2024年9月期	前年同期比	2024年9月期	前年同期比
<b>資金利益</b>	<b>116.2</b>	<b>1.3</b>	<b>59.0</b>	<b>0.1</b>	<b>57.2</b>	<b>1.1</b>
貸出金利息	115.1	4.5	58.2	1.7	56.8	2.7
有価証券利息配当金	3.0	△0.5	1.5	△0.6	1.4	0.0
預金利息 ※	4.0	3.2	2.0	1.5	1.9	1.6
<b>平均残高</b>						
貸出金平均残高	19,049	286	9,659	△27	9,389	314
有価証券平均残高	3,735	△1,572	1,031	△1,344	2,704	△228
預金平均残高 ※	24,061	△693	11,668	△764	12,393	70
<b>利回り</b>						
貸出金利回	1.21	0.03	1.21	0.04	1.20	0.02
有価証券利回	0.16	0.03	0.30	0.12	0.10	0.01
預金利回 ※	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03

※預金には、譲渡性預金も含まれます。

### ③ 貸出金・預金 - 住宅ローンなどが増加 -

- **貸出金残高**は、地元中小企業へのオーダーメイド型融資や仙台地区を中心とした住宅ローン需要へ対応し、前年同月末比+81億円の**1兆9,048億円**となりました。
- きらやか銀行は、地方公共団体向け貸出が増加しましたが、中小企業向け貸出が減少したことなどから、前年同月比△185億円の9,541億円となりました。  
仙台銀行は、中小企業向け貸出が増加したほか、住宅ローン需要に積極的に対応したことにより、過去最高の9,507億円となりました。
- **預金残高**は、前年同月末比△1,029億円の**2兆3,584億円**となりました。

(単位：億円)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2024年9月末	前年同月末比	2024年9月末	前年同月末比	2024年9月末	前年同月末比
<b>貸出金残高</b>	<b>19,048</b>	<b>81</b>	<b>9,541</b>	<b>△185</b>	<b>9,507</b>	<b>267</b>
中小企業向け貸出	10,762	△95	5,798	△176	4,963	80
消費者ローン	6,270	<b>373</b>	2,519	<b>71</b>	3,750	<b>302</b>
うち住宅ローン	5,724	251	2,267	△29	3,456	281
地方公共団体向け貸出	894	22	286	71	607	△49
<b>預金残高（譲渡性預金含む）</b>	<b>23,584</b>	<b>△1,029</b>	<b>11,382</b>	<b>△897</b>	<b>12,202</b>	<b>△132</b>
個人預金	14,873	△744	7,490	△680	7,383	△64
法人預金	6,172	△275	3,468	△201	2,703	△74
公金預金	2,501	△3	404	△14	2,096	10

## ④ 有価証券 – その他有価証券評価損が改善 –

- **有価証券残高**は、きらやか銀行において、2024年3月期に再投資に向けて有価証券の一部を売却したため、前年同月末比△1,452億円の**3,486億円**となりました。
- **その他有価証券の評価損益**は、評価損のある有価証券の一部売却などにより、前年同月末比87億円改善し△**235億円**となりました。引き続き、SBIグループと連携し、運用によって生み出される利益を充当することなどにより、評価損の中長期的な解消に取り組んでまいります。

(単位：億円)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2024年9月末	前年同月末比	2024年9月末	前年同月末比	2024年9月末	前年同月末比
<b>有価証券残高</b>	<b>3,486</b>	<b>△1,452</b>	<b>924</b>	<b>△1,257</b>	<b>2,561</b>	<b>△195</b>
国債	51	0	–	–	51	0
地方債	355	△79	–	△69	355	△10
社債	510	△242	171	△214	338	△27
株式	96	9	61	△4	35	13
<b>その他証券（海外債券：国債・地方債等）</b>	<b>2,472</b>	<b>△1,140</b>	<b>691</b>	<b>△969</b>	<b>1,781</b>	<b>△171</b>
<b>その他有価証券の評価損益</b>	<b>△235</b>	<b>87</b>	<b>△100</b>	<b>82</b>	<b>△134</b>	<b>4</b>
株式	4	△3	0	△3	4	△0
債券	△6	14	△1	14	△5	△0
その他	△233	76	△99	71	△133	5

## ⑤ 役務取引等利益 – 生命保険販売手数料が増加 –

- 2行合算の役務取引等利益は、預かり資産手数料の増加により、前年同期比+29百万円の**1,204百万円**となりました。
- 預かり資産手数料は、SBIマネープラザ手数料が減少しましたが、生命保険販売手数料が増加となりました。
- 法人向け手数料は、きらやか銀行の企業向け定額サービス（福利厚生）の見直しなどにより、関連手数料が減少しています。

(単位：百万円、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2024年9月期	前年同期比	2024年9月期	前年同期比	2024年9月期	前年同期比
<b>役務取引等利益</b>	<b>1,204</b>	<b>29</b>	<b>904</b>	<b>9</b>	<b>299</b>	<b>19</b>
<b>役務取引等収益</b>	<b>3,270</b>	<b>106</b>	<b>1,671</b>	<b>14</b>	<b>1,599</b>	<b>92</b>
受入為替手数料	686	△9	373	△9	312	△0
預かり資産手数料	903	172	378	80	525	92
（うち 投資信託販売手数料）	82	5	31	△1	51	7
（うち SBIマネープラザ手数料）	73	△12	32	△9	41	△3
（うち 生命保険販売手数料）	703	179	314	91	388	88
法人向け手数料	315	△87	176	△62	139	△24
（うち 私募債発行手数料）	32	△20	26	△11	6	△9
（うち 業務提携手数料）	91	1	16	△2	74	4
（うち 定額サービス手数料）	160	△45	132	△47	27	2
その他	1,364	30	742	5	621	25
<b>役務取引等費用</b>	<b>2,065</b>	<b>77</b>	<b>766</b>	<b>4</b>	<b>1,299</b>	<b>72</b>
支払為替手数料	177	6	125	4	51	1
個人ローン保証料	808	47	180	10	627	37
その他（住宅ローン団体生命保険料等）	1,080	23	460	△10	619	33

## ⑥ 経費、経営効率化 – 「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」 –

- 当社グループは、経営効率化に向けて「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」を一体で推進しております。2行合算の経費は、物件費が増加しましたが、人件費および税金が減少し、**前年同期比△385百万円**の10,569百万円となりました。
- 「店舗戦略」については、両行が店舗内店舗方式（ブランチ・イン・ブランチ）による統廃合を進めており、両行合算の実質店舗数は、前年同期比△5カ店の82カ店となっております。
- 「人員戦略」については、「店舗戦略」や「業務効率化・DX」による創出人員を営業担当へ再配置しております。一方で、全体の人員数は両行合算で前年同期比△43名となりました。これにより人件費は、前年同期比△274百万円となっております。
- コアOHRは、経費が減少し、貸出金利息の増加などにより資金利益が増加したことから、前年同期比3.69ポイント改善し81.28%となりました。

(単位：百万円、店舗、人、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2024年9月期	前年同期比	2024年9月期	前年同期比	2024年9月期	前年同期比
<b>経費</b>	<b>10,569</b>	<b>△385</b>	<b>5,442</b>	<b>△380</b>	<b>5,127</b>	<b>△4</b>
人件費	4,961	△274	2,487	△209	2,474	△64
物件費	4,743	13	2,509	△48	2,233	62
税金	864	△124	445	△122	419	△2
<b>店舗数</b> (ブランチ・イン・ブランチ形式での実質店舗数)	82	△5	35	△5	47	–
<b>人員数</b>	1,347	△43	666	△33	681	△10
<b>コアOHR</b>	81.28	△3.69	77.92	△6.15	85.17	△0.85

## ⑦ 与信関係費用、金融再生法開示債権 – 貸倒引当金戻入益が減少 –

■与信関係費用は、きらやか銀行では貸倒引当金戻入益および偶発損失引当金戻入益を計上、仙台銀行では貸倒引当金戻入益が減少したことから2行合算で前年同期比+296百万円の**266百万円**となりました。

■金融再生法開示債権残高は、前年同期比+17,668百万円の**92,129百万円**。不良債権比率は、**4.74%**となりました。

(単位：百万円、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2024年9月期	前年同期比	2024年9月期	前年同期比	2024年9月期	前年同期比
	<b>与信関係費用</b>	<b>266</b>	<b>296</b>	<b>△93</b>	<b>△368</b>	<b>360</b>
うち一般貸倒引当金繰入額	98	98	-	-	98	98
うち個別貸倒引当金繰入額	179	179	-	-	179	179
うち貸倒引当金戻入益	115	△455	115	△87	-	△368
<b>金融再生法開示債権残高</b>	<b>92,129</b>	<b>17,668</b>	<b>60,325</b>	<b>16,847</b>	<b>31,803</b>	<b>821</b>
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	16,781	10,531	14,104	9,457	2,677	1,073
危険債権	71,859	9,625	45,831	9,530	26,027	95
要管理債権	<b>3,488</b>	<b>△2,488</b>	389	<b>△2,140</b>	3,098	<b>△347</b>
<b>不良債権比率</b>	<b>4.74</b>	<b>0.90</b>	<b>6.15</b>	<b>1.81</b>	<b>3.31</b>	<b>△0.00</b>

	2行合算			きらやか銀行			仙台銀行		
	債権額	保全額	保全率	債権額	保全額	保全率	債権額	保全額	保全率
	<b>金融再生法開示債権の保全</b>	<b>92,129</b>	<b>79,711</b>	<b>86.52</b>	<b>60,325</b>	<b>49,821</b>	<b>82.58</b>	<b>31,803</b>	<b>29,889</b>
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	16,781	16,781	100.00	14,104	14,104	100.00	2,677	2,677	100.00
危険債権	71,859	60,865	84.70	45,831	35,616	77.71	26,027	25,248	97.00
要管理債権	3,488	2,064	59.17	389	100	25.76	3,098	1,963	63.37

(単位：百万円、%)

⑧

## 自己資本比率、ROE

- 連結自己資本比率 7.69% -

- 当社は、2023年9月にコロナ特例公的資金180億円、同年12月にSBIグループ追加出資19億円を新たに受入れ、きらやか銀行の自己資本に充当しました。
- しかしながら、同銀行における2024年3月期の大幅赤字決算により、親会社株主に帰属する当期純損失234億円を計上したことなどから、自己資本の額は、前年同月比△185億円の1,077億円となりました。
- リスク・アセット等は、きらやか銀行において貸出金などが減少したことにより、前年同月比△135億円の14,001億円となりました。以上により、**連結自己資本比率**は、前年同月末比1.24ポイント低下し**7.69%**となりました。
- ROE**は、黒字に転換しましたが、中間純利益ベースで前年同期比△0.16ポイントの**2.66%**となりました。

(単位：百万円、%)

	連結		きらやか銀行 (単体)		仙台銀行 (単体)	
	2024年9月末	前年同月末比	2024年9月末	前年同月末比	2024年9月末	前年同月末比
自己資本	107,779	△18,513	55,070	△19,049	53,568	610
リスク・アセット等	1,400,162	△13,580	689,223	△39,687	706,346	25,862
<b>自己資本比率</b>	<b>7.69</b>	<b>△1.24</b>	<b>7.99</b>	<b>△2.17</b>	<b>7.58</b>	<b>△0.20</b>

(単位：%)

	2行合算		きらやか銀行 (単体)		仙台銀行 (単体)	
	2024年9月期	前年同期比	2024年9月期	前年同期比	2024年9月期	前年同期比
ROE (業務純益ベース)	4.56	1.07	6.72	2.39	2.79	0.08
<b>ROE (中間純利益ベース)</b>	<b>2.66</b>	<b>△0.16</b>	<b>4.30</b>	<b>1.83</b>	<b>1.33</b>	<b>△1.82</b>

## ⑨ 中期経営計画目標と実績 – 公的資金返済に向けて業績を着実に改善 –

- 当社グループは、2024年9月に返済を予定していた、きらやか銀行の公的資金の返済期日の見直しを含めて、国との間で協議を行い、経営強化計画を策定。今般、上記公的資金の返済期日を2037年9月に変更することを含めて、本計画について承認をいただきました。
- 当社グループは、併せて経営強化計画の内容を含む新たな中期経営計画を策定。今後、計画を確実に実行することで、黒字決算への回復と復配に取り組むとともに、公的資金返済に向けた剰余金の積上げに取り組んでまいります。

(単位：億円、%)

	連結		きらやか銀行 (単体)		仙台銀行 (単体)	
	2025年3月期 計画	2024年9月期 実績	2025年3月期 計画	2024年9月期 実績	2025年3月期 計画	2024年9月期 実績
<b>コア業務純益</b> (2行合算)	37	<b>24</b>	20	<b>15</b>	17	<b>8</b>
経常利益	17	<b>22</b>	2	<b>14</b>	13	<b>6</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	11	<b>14</b>	1	<b>9</b>	8	<b>3</b>
貸出金平残 (2行合算)	19,173	<b>19,049</b>	9,691	<b>9,659</b>	9,482	<b>9,389</b>
預金平残 (2行合算)	23,640	<b>24,061</b>	11,200	<b>11,668</b>	12,440	<b>12,393</b>
<b>ROE</b> (2行合算) ※1	1.0	<b>2.6</b>	0.3	<b>4.3</b>	1.5	<b>1.3</b>
自己資本比率	7.4程度	<b>7.69</b>	7.7程度	<b>7.99</b>	7.6程度	<b>7.58</b>
コアOHR (2行合算)	85.3	<b>81.2</b>	84.9	<b>77.9</b>	85.7	<b>85.1</b>
顧客向けサービス業務利益 (2行合算) ※2	32	<b>19</b>	15	<b>11</b>	17	<b>7</b>

※1 ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本 (普通株 + 優先株)

※2 顧客向けサービス業務利益 = 貸出金残高 × 預貸金利回差 + 役務取引等利益 - 営業経費

## ⑩ 2025年3月期 業績予想と配当予想

- 2025年3月期第2四半期において経常利益22億円、親会社株主に帰属する中間純利益14億円を計上しましたが、きらやか銀行にて与信関係費用を通期で15億円見込んでいることから、通期連結業績予想（2025年3月期）は経常利益15億円、親会社株主に帰属する当期純利益9億円を見込んでおります。詳細は次ページをご覧ください。
- 配当予想（2025年3月期）は、黒字回復を見込むものの、現時点において未定としております。なお、2024年9月20日に国の承認をいただき、公表しました当社グループの経営強化計画は、2025年3月期以降配当を行う前提で記載しております。
- 年間配当水準は当社連結の通期業績予想に連動しておりますことから、今後の配当予想を開示する場合は、期末配当に一本化する予定でございます。

### <業績予想>

(単位：百万円)

	連結		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2025年3月期 予想	2024年3月期 実績（参考）	2025年3月期 予想	2024年3月期 実績（参考）	2025年3月期 予想	2024年3月期 実績（参考）
経常利益	1,500	△22,329	200	△23,778	1,300	1,693
親会社株主に帰属する当期純利益	900	△23,462	100	△24,428	800	1,167

### <普通株式・配当予想>

(単位：円、1株あたり)

	中間	期末	年間
2025年3月期	0円00銭	未定	未定
2024年3月期（参考）	0円00銭	0円00銭	0円00銭

- きらやか銀行において2025年3月期第2四半期の与信関係費用は当初予想を大幅に下回りましたが、通期では以下の理由により、当初予想どおり年間15億円を見込んでおります。
- 新規費用発生への備えは、今後、取引先への物価上昇などの影響が顕在化することも念頭に置き、当初予想どおり年間14億円を見込んでおります。
- 再生支援費用は、支援継続先に対するサポートを展開しておりますが、追加発生や前倒し対応の可能性があり、当初予想どおり年間7億円を見込んでおります。
- 取引先の債務者区分のランクアップによる貸倒引当金戻入益は、当初予想どおり年間6億円を見込んでおります。

きらやか銀行 2025年3月期通期 与信関係費用予想

(単位：億円)

主な要因	上期実績	下期予想	通期予想
一般貸倒引当金	△1		△1
不良債権等処理	0	16	16
新規費用発生への備え	1	13	14
取引先の再生支援費用	1	6	7
引当水準の変動	△3	4	1
その他（貸倒引当金戻入益）	1	△7	△6
小計	△1	16	15

---

## 3. 中期経営計画の概要と進捗状況

# ① 前計画までの成果と課題

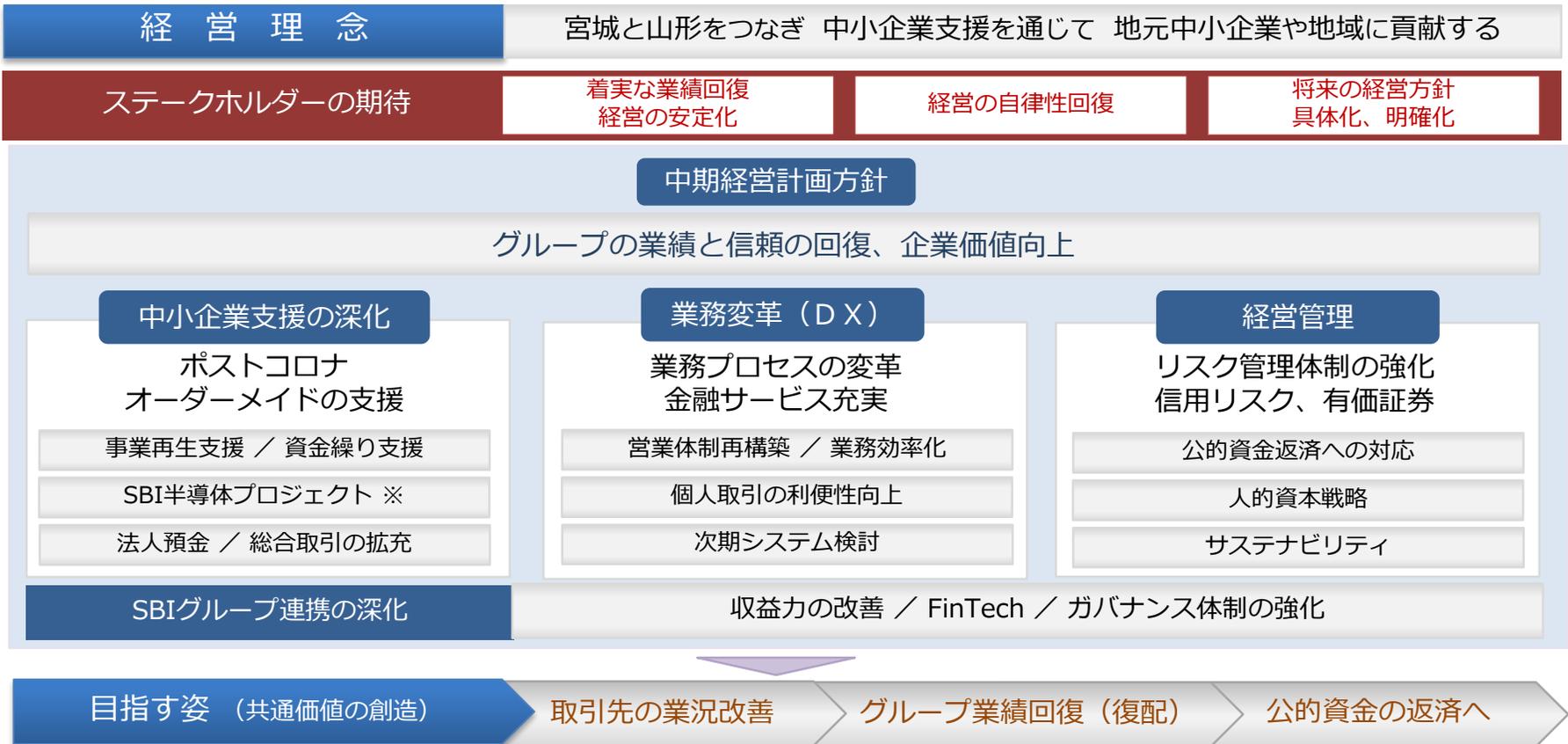
- 当社の統合目的は、地方創生であり、宮城と山形を人と産業と情報でつなぎ、**産業・情報交流、地域活性化に大きく貢献**しています。
- 中小企業支援は、コロナ禍で影響を受ける取引先への支援などを展開し、**両行のノウハウ共有**を通じてシナジー効果を追求しています。
- 経営効率化は、システム統一、事務センター委託、市場部門集約、店舗再編等を通じて、**業務再構築と効率化を実現**してきています。
- 収益力は、多額の与信関係費用の計上、有価証券評価損の処理により、過去最大の赤字を計上し、**当社株価やPBRも影響**が及んでいます。

	HD設立時計画 (2012～2014)	HD中期経営計画 ① (2015～2017)	HD中期経営計画 ② (2018～2020)	HD中期経営計画 ③ (2021～2023)
	東日本大震災復興支援、中小企業成長支援		コロナ禍、金利物価上昇、人手不足	
主 題 と 成 果	<b>◆本業支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災復興支援</li> <li>HD本業支援戦略部の設置</li> <li>宮城と山形をつなぐ</li> <li>本業支援研修会</li> </ul>	<b>◆本業支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京TYFG提携</li> <li>仙台合同新規開拓チーム</li> <li>じもと創生本業支援ファンド</li> </ul>	<b>◆本業支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業成長戦略 (両行が市場に応じて展開)</li> <li>仙台地区営業戦略</li> <li>新型コロナ資金繰り支援</li> </ul>	<b>◆中小企業支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナ資金繰り支援</li> <li>経営改善、事業再生支援</li> <li>与信関係費用前倒し計上</li> <li>SBI半導体プロジェクト</li> </ul>
	<b>◆統合効果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>サブシステム統一</li> <li>コスト削減コンサル導入</li> </ul>	<b>◆統合効果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>勘定系システム統一</li> <li>新事務センター業務委託</li> </ul>	<b>◆統合効果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>市場金融部オフィス集約</li> <li>市場バックオフィス統一</li> </ul>	<b>◆業務変革DX</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>店舗再編、営業人員再配置</li> <li>SBI連携による業務変革</li> </ul>
	<b>◆経営管理</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>本部組織、会議運営統一</li> <li>法令改正へ共同対応</li> </ul>	<b>◆経営管理</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ規程統一</li> <li>経費削減</li> </ul>	<b>◆経営管理</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>監査等委員会設置会社移行</li> <li>SBIグループ資本業務提携</li> </ul>	<b>◆経営管理</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ特例公的資金の導入</li> <li>信用リスク管理の強化</li> </ul>
連結利益	<b>57億円</b> (2014年度)	<b>34億円</b> (2017年度)	<b>▲30億円</b> (2020年度)	<b>▲234億円</b> (2023年度)

## ② 経営理念と目指す姿（新たな中期経営計画の策定）

- 当社グループの経営理念は、「宮城と山形をつなぎ、中小企業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」ことです。
- 策定した新たな中期経営計画（2024年～2026年）では、「**グループの業績と信頼の回復、企業価値向上**」を計画方針とし、「**中小企業支援の深化**」「**業務変革（DX）**」「**経営管理**」において、「**SBIグループ連携**」を深めながら、地域創生、業務変革のスピードアップ、経営管理の高度化に取り組みます。
- これらの取り組みを通じ、取引先業況の改善、グループ業績回復、公的資金返済へつなげる「**共有価値の創造**」の実現を目指していきます。

※本計画の施策に掲げております「SBI半導体プロジェクト」は、SBIHDとPSMCとの提携解消を受け、対応に変更が生じておりますが、当社グループの業績予想に影響はございません。



## ② 経営理念と目指す姿（ステークホルダーの期待）

- 2024年3月期の大幅赤字決算と無配、公的資金の返済見直しなどを踏まえ、ステークホルダーが当社グループへ期待すること、本計画で実現することを明確にし、ステークホルダー目線で施策を実行します。
- これにより地域社会への貢献、地域金融機関としての存在意義の向上につなげてまいります。

前計画での出来事	ステークホルダー	じもとグループへの期待	本計画で実現すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ特例公的資金受入れ</li> <li>大口取引先の倒産</li> <li>多額の赤字決算・無配</li> </ul>	中小企業	<p>&lt;共通事項&gt;</p> <p>自社への経営支援 新たなビジネス機会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーダーメイドの企業支援</li> <li>・SBIグループの半導体事業への協力</li> <li>・地域の創業支援へ注力</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>公的資金返済の見直し</li> <li>SBI半導体プロジェクト</li> <li>女性職員が多分野で活躍</li> </ul>	個人利用者	<p>着実な業績回復 経営の安定化</p> <p>新たな金融サービス 安心と利便性向上 いつも身近な存在</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SBIのシステム、サービス導入</li> <li>・電子契約、スマホ取引の拡充</li> <li>・資産運用、相続のコンサル相談充実</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>性別・経歴等に係らない人材登用</li> </ul>	投資家株主	<p>経営の自律性 回復</p> <p>株価の回復 SBI提携の効果発揮 環境問題等への貢献</p> <p>将来の経営方針 具体化、明確化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒字回復、復配、PBR・ROEの改善</li> <li>・SBIの知見によるガバナンス強化</li> <li>・サステナブルファイナンス強化</li> </ul>
<p>新計画の方針</p> <p>グループの業績と 信頼の回復</p>	従業員	<p>多様な自己実現機会 一層の業務変革</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手職員、女性職員の活躍と抜擢</li> <li>・シニア世代のノウハウ活用</li> <li>・適正人員配置、DX活用の拡大</li> </ul>

### ③ 中小企業支援の深化

- 施策のひとつとして掲げております「SBI半導体プロジェクト」につきまして、SBIHDとPSMCとの提携が解消となりましたが、引き続き、宮城県の半導体産業活性化に貢献すべく取組みを継続しております。なお、当社グループの業績予想への影響はございません。
- ポストコロナでは取引先毎に経営状況が大きく異なることから、オーダーメイドの支援策をスピーディーに対応しております。
- 資金繰り支援に加え、事業再生/成長支援が重要であり、コロナ特例公的資金注人行として、コンサル子会社と連携して経営支援を行っております。

#### SBI半導体プロジェクト

##### 半導体産業活性化への取組み継続

- ◆ SBIHDは、PSMCとの提携を解消しましたが、引き続き、宮城県を半導体ビジネスの集積地のひとつとするべく、本事業を継続いたします。
- ◆ 当社グループはSBIグループの半導体事業展開を注視しつつ、その他の企業誘致情報も収集し、半導体産業活性化に貢献できるよう取り組んでまいります。
- ◆ なお、SBI半導体工場の本格稼働は2027年度を予定していたため、当社グループの業績予想への影響はございません。

#### 仙台地区戦略

##### 中小企業貸出平均残高

2024年度上期	<b>4,983億円</b>
対前年同月末比	増加 156億円
伸び率	<b>3.2%</b>

オーダーメイド型融資、  
スピード対応による  
新規取引先の増加

コンサル子会社との  
連携による  
事業再生/成長支援

#### 地方創生への貢献

##### 電子地域通貨

##### 電子地域通貨

<宮城県>  
・パタPAY (大崎市)  
<山形県>  
・ベニpay (山形市)  
・電子商品券事業 (河北町)

##### 企業版ふるさと納税

##### 企業版ふるさと納税

利府町、多賀城市、登米市、  
気仙沼市、塩竈市、栗原市、  
南三陸町、富谷市、松島町、  
大郷町、蔵王町、七ヶ宿町、  
柴田町、大衡村

引続き、地公体との連携を拡大

## ④ 業務変革（DX）

- ポストコロナでの社会経済の変化、とりわけ人員不足と急速なDX進展などに応じたスピード感ある業務変革を重要課題としております。
- 「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」を一体で進め、経営資源を効率的に再配分し、営業体制の増強につなげております。  
また、SBIグループの知見やノウハウも積極活用し、新たな金融サービスの提供や業務の再構築に取り組んでおります。
- 中長期的な業務全体の改革を見据えた、次期勘定系システムの検討に着手し、先行事例を踏まえながらランドデザインを策定してまいります。

### 「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」を一体で推進

#### 店舗戦略

##### 【店舗網の見直し 2024年度】

計画的な店舗統合による合理化  
中小企業支援の人員を創出

店舗再編(2024年度上期)

- きらやか銀行 3店舗

3店舗

店舗建替

- 仙台銀行 台原支店  
(2025年夏頃、  
新店舗の営業開始予定)

1店舗

#### 業務効率化・DX

2029年の勘定系システム更改  
ワーキンググループを設置し  
グループで検討着手

きらやか銀行ネット支店  
リニューアル、キャンペーン展開  
SBIと新たな預金商品の企画

バンキングアプリ  
デザイン変更、機能強化で  
利便性向上

本部業務プロセスの再構築

#### 人員戦略

『店舗役割の見直しと明確化』  
(きらやか銀行)  
・最適な人材配置  
・効率的な営業体制の構築  
・人材育成

「店舗戦略」「業務効率化・DX」  
創出した人員を営業担当へ  
順次再配置

女性・若手職員の営業力強化  
グループ内で育成ノウハウを共有

SBIグループ連携の積極活用

## ⑤ 経営管理

- 2024年9月に返済を予定していた、きらやか銀行の公的資金の返済期日を2037年9月に変更することを含めた経営強化計画を策定し、国より承認をいただきました。SBIグループと連携して、公的資金返済に向けた利益剰余金計画への対応を進めております。
- 信用リスク管理について、与信審査管理向上に向けたグループノウハウの共有や外部知見の導入、取引先の実態把握へのHDの関与を深めるなど、グループ管理を強化しております。
- 多様な人材が活躍できる職場環境を目指して、人事制度の見直しや運用改善を進めております。意欲と実力と成果に基づいた、能力・個性を発揮し、成長・活躍できる組織づくりを進めております。

### 資金政策/株価対策

#### 経営強化計画策定

- ◆ 国の承認をいただき、公的資金200億円返済期日を2037年9月に変更
- ◆ 利益剰余金計画の達成に向けた対応

#### PBR/ROE改善への取組み

- ◆ 課題である安定収益の確保に向け、公的資金を活用した地元企業支援、与信リスク管理に取り組む

#### サステナビリティ対応

- ◆ CO2排出量削減やサステナビリティ関連投融資の目標を設定、進捗状況を公表
- ◆ 女性管理職比率15%へ向けた取組み

### リスク管理態勢の強化

#### 信用リスク管理

- ◆ 取引先の的確な実態把握、HDの関与を深めてグループ管理を強化
- ◆ SBIグループから取締役1名を招へいしきらやか銀行の管理体制を強化

#### 有価証券リスク管理

- ◆ SBIグループとの連携による評価損改善、再投資への対応
- ◆ SBIポート以外（債券、株式、投資信託等）の投資対応

#### 社外取締役の知見活用

- ◆ 本部職員との面談、営業店訪問を実施
- ◆ 社外取締役の知見をさらに活用し、グループ重要課題の協議を拡充

### 人的資本戦略

#### 人事制度の見直し

- ◆ 多様な人材が能力・個性を発揮し、成長・活躍できる環境整備
- ◆ 組織全体のモチベーション向上

#### 女性・若手職員の活躍推進

- ◆ 女性管理職比率15%へ向け、役席者を対象に「女性リーダー養成研修」を共催

#### ワーク・ライフ・バランス

- ◆ 適正な勤務時間管理の実施
- ◆ 育児休暇取得者の職場復帰支援

#### 人権の尊重

- ◆ ハラスメント研修の実施
- ◆ 「カスタマーハラスメント対応方針」の制定

## ⑥ SBIグループとの主な連携状況

- 当社グループは、SBIグループとの連携を積極活用し、中小企業支援、業務変革、経営管理、人材育成の各分野で提携効果を発揮しております。
- 2023年12月、SBIグループによる追加出資19億円を受入れ、全額をきらやか銀行の増資に充当いたしました。
- 2024年9月、きらやか銀行の再建に向けて、新たにSBIグループから、同行へ取締役1名が就任し、内部管理体制の強化を進めております。

### SBIグループとの主な提携実績

#### 法人戦略

- ◆無料ECサイト構築支援
- ◆電子稟議ワークフロー導入支援
- ◆事業性ローン団信取扱
- ◆DX関連オンラインセミナー開催
- ◆助成金、補助金申請支援
- ◆DXデータベース
- ◆トレーサビリティサービスの提供

#### 地方自治体支援

- ◆地域通貨(プレミアム商品券)の電子化
- ◆企業版ふるさと納税

#### 個人戦略

- ◆きらやか銀行ネット支店のリニューアル
- ◆住宅ローン団信、がん保険
- ◆銀行代理業による住宅ローン
- ◆個人版確定拠出年金
- ◆投資信託商品
- ◆投資用不動産事業に係るアパートローン

#### ガバナンス

- ◆SBIより社外取締役1名が就任  
※きらやか銀行取締役(非業務執行)を兼任
- ◆新たにSBIグループから、きらやか銀行へ取締役1名が就任
- ◆SBIよりオブザーバー2名が会議参加



×



#### コスト削減

- ◆SBI共通ATMへ全台入替
- ◆じもとHD役員賠償責任保険見直し
- ◆SBIビジネス・イノベーターのノウハウ活用

#### SBIマネープラザ

- ◆共同店舗運営、資産運用提案の向上
- ◆相続に係るコンサルティング業務の強化

#### 人材トレーニー派遣

- ◆SBIネオファイナンシャルサービシーズ(FinTech)
- ◆SBIHD生成AI室が執り行う「SBI地域生成AI研究会」に参画

#### ファンド出資・融資連携

- ◆SBIインベストメント組成ファンド出資
- ◆SBI新生銀行が組成するシンジケートローンへ参加

#### ネット支店・バンキングアプリ

- ◆定期預金キャンペーン
- ◆利便性の向上

# ⑦ 新体制の基本方針と黒字化への新戦略（きらやか銀行）

- きらやか銀行は、2024年9月に承認された経営強化計画を達成し、公的資金を着実に返済していくため、「考勤改革！～意識を変える・行動を変える～」をスローガンに掲げ、役職員が一丸となって「**地元**に信頼され、**ともに将来を創る銀行**」を目指します。
- 当行の主要課題である**信用リスク管理**は、外部専門家や仙台銀行から人材を招き、じもとHDやSBIグループの協力を得ながら、管理態勢を強化してまいります。営業店では、お客さまへの訪問を徹底し、お客さまの経営改善やニーズに積極的に対応いたします。
- 顧客基盤を強化するためインターネット支店をリニューアルしました。2024年12月に「きらやか銀行SBIさくらんぼ支店」へ名称を変更し、SBIグループのノウハウを活用して、新たな預金商品を取り扱うなど、お客さまの利便性を高めてまいります。

経営理念

「地域と共に生きる」

スローガン

考勤改革！～意識を変える・行動を変える～

<p><b>企業支援体制</b></p> <p>企業支援の外部専門家を招へい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆外部専門家の指導のもと、事業再生や事業整理の提案、実行サポート実践</li> <li>◆外部専門家による若手職員の財務分析、業種別審査ノウハウ研修を開催</li> </ul>	<p><b>お客さま訪問</b></p> <p>お客さまを知るために訪問を重ねる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆役員を含めたお客さま訪問を拡大</li> <li>◆訪問を重ね、対話を通してお客さまのニーズを深掘りし、積極的に対応</li> </ul>	<p><b>現場重視</b></p> <p>お客さまや営業店・本部各部の現場と対話し経営に反映させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆何よりも現場の対話と情報を重視</li> <li>◆常に現場の声を経営に反映</li> </ul>
<p><b>貸出審査体制</b></p> <p>仙台銀行の審査役員を招へい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆仙台銀行常務取締役1名（これまで）</li> <li>◆仙台銀行専務取締役1名（これから）</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"><b>外部視点から信用リスク管理を再構築</b></p>	<p><b>意思決定のスピード化</b></p> <p>風通しの良い職場にして意思の疎通を良くし、意思決定を迅速に行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆横のつながりを深める（日常の対話）</li> <li>◆情報伝達方法の簡素化</li> <li>◆迅速な意思決定（方向性）</li> </ul>	<p><b>顧客基盤強化</b></p> <p>SBIグループとの連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ネット支店のリニューアル</li> <li>◆全国のお客さまを対象としたネット支店における新商品の展開</li> </ul>

ネット支店リニューアル



ーリニューアルキャンペーン商品ー

“ふるさと応援”  
定期預金キャンペーン  
ー 円定期預金1年 ー

適用金利年 **2.5%** 税引き後 年1.992%

普通預金  
キャッシュプレゼントプログラム  
四季のボーナス

普通預金に100万円以上のお預け入れで自動エントリー

お得な普通預金金利 **年0.20%** さらに 年最大4回の **キャッシュプレゼント!!**

リニューアル記念 定期キャンペーン

円定期預金 **1年ずーっと** 年最大4回の **年0.7%** 年0.557%

実施期間：2024年12月2日～2025年5月31日

---

## 4. じもとグループのサステナビリティ (サステナビリティ活動報告)

# ① サステナビリティ基本方針

- 当社グループは、2021年12月に「サステナビリティ基本方針」を制定、2022年4月に「サステナビリティ推進グループ」を設置しました。
- 持続可能な社会の実現に向けて、役員研修や支店長会議でグループ方針を周知し、中小企業支援と各主要課題に取り組んでおります。

## サステナビリティ基本方針

じもとグループは、地域金融グループとして「宮城と山形をつなぎ、中小企業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」ことを経営理念としております。

この経営理念に基づく事業活動を通じて、取引先や地域社会の持続可能な発展に貢献し、併せて、当社グループの中長期的な企業価値の向上にもつなげていく「共通価値の創造」の実現を目指してまいります。

1. じもとグループは、宮城県と山形県の地元中小企業が直面する、地域経済の縮小、人口の減少・高齢化、後継者問題などの中長期的な課題への対応、業況の改善に取り組んでまいります。
2. じもとグループは、環境問題、職員の健康・労働環境の改善や公正・適切な処遇、人権尊重、東日本大震災の被災経験等を踏まえた危機管理などに取り組んでまいります。
3. じもとグループは、国連が提唱するSDGsの趣旨に賛同し、持続可能な地域社会の実現に向けて、外部連携も活用しながら、社会的な課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

**中小企業支援を通じた取引先への取組み**  
(金融機関としてなすべきこと)

**主要課題への取組み**  
(上場企業としてなすべきこと)

取引先や地域社会の持続可能な発展に貢献  
当社グループの収益改善

**「共通価値の創造」** の実現へ

## ② サステナビリティ投融資方針

- 当社グループは、「サステナビリティ基本方針」に基づき、取引先や地域社会の持続可能な発展に貢献する投融資業務に取り組むにあたり、「サステナビリティ投融資方針」を制定しております。

### サステナビリティ投融資方針

#### 1. 積極的に取り組む企業や事業分野

取引先や地域社会の持続可能な発展にポジティブな影響をもたらす可能性の高い企業や事業活動に対して、継続的かつ積極的に投融資を行い、支援いたします。

- (1) SDGs・ESGの趣旨に沿った経営を志向する企業および事業活動
- (2) 地域企業の創業、イノベーション創出・成長・DX推進に取り組む企業および事業活動
- (3) 再生可能エネルギーや省エネルギーなど気候変動リスクの低減に取り組む企業および事業活動
- (4) 脱プラスチックや森林資源保全など環境問題の解決に取り組む企業および事業活動
- (5) 社会問題の解決に取り組む企業および事業活動

#### 2. ネガティブな影響の低減・回避

取引先や地域社会の持続可能な発展に極めて大きいネガティブな影響をもたらす可能性の高い事業分野に対しては、原則、投融資を行いません。

- (1) 新設の石炭火力発電事業
- (2) 原生林や生態系の破壊など環境への甚大な影響が懸念される森林伐採事業など
- (3) 人権侵害や強制労働が懸念されるパーム油農園開発事業など
- (4) クラスター爆弾製造関連事業などの非人道的事業

#### 3. サステナビリティ関連投融資の実行目標および実績

サステナビリティ関連投融資について、2030年度までに1,000億円の実行を目指します。

実行目標（2030年度末）	累計実績（2023年度）
1,000億円	429億円

### ③ 中小企業支援を通じたサステナビリティ

- 当社グループは、中小企業支援を通じて、地元中小企業や地域の中長期的な課題の解決に対応。取引先や地域社会の持続的な発展に貢献することで、当社グループの企業価値を向上させてまいります。

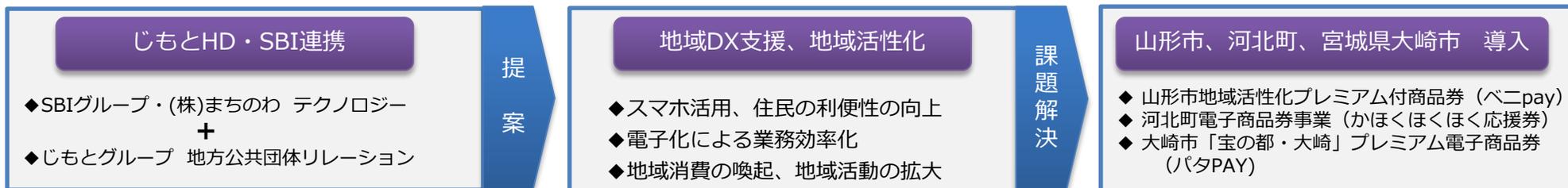
#### <中小企業や地域の中長期的な課題>



#### <課題解決への取組み>

ポストコロナ	地域経済の縮小	人口の減少・高齢化	後継者問題
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆取引先への訪問、面談の徹底</li> <li>◆スピード重視の資金繰り支援</li> <li>◆事業再構築補助金の申請支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆県境を越えた新たな商機創出</li> <li>◆地公体へ電子地域通貨支援</li> <li>◆サステナビリティ関連投融資</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中小企業のデジタル化支援</li> <li>◆企業主導型保育施設の設置</li> <li>◆外国人技能実習生の受入れ支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆次世代の地域経営者の育成</li> <li>◆経営人材の紹介、婚活支援</li> <li>◆事業承継・M&amp;A支援</li> </ul>

#### <地公体へ電子通貨支援>



## ④ 主要課題への取組み

- 当社グループは、上場企業、地域企業として取り組むべき、サステナビリティの5つの課題を設定して取り組んでおります。
- 従業員や取引先など、多様なステークホルダーとの良好な関係を構築することを通じて、持続可能な社会の実現を目指しております。

### 主要課題 1 気候変動などの地球環境問題

項目	取組み状況
電力消費量削減	【削減実績】 △284千kwh ※2023年9月末対比
照明設備のLED化	【実施率】 75.6% (82カ店のうち62カ店で実施) ※2024年9月末現在
CO2排出量の削減 (Scope1,2合算)	【削減率】 △39.8% (2030年度削減目標：2013年度対比△46.0%)
気候変動リスクへの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TCFD提言への賛同</li> <li>・外部説明会の受講等による情報収集</li> </ul>

### 主要課題 2 人権の尊重

項目	取組み状況
通報相談窓口等の体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部通報窓口、ハラスメントに係る相談窓口を設置。通報先に外部弁護士を追加。ハラスメント事案の発生防止、早期発見に取り組んでおります。</li> <li>・従業員の人権、個性を尊重するとともに安全で働きやすい環境を確保するため、「カスタマーハラスメント対応方針」を制定しております。</li> </ul>
研修を通じた職員への啓蒙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場でのハラスメント予防、コンプライアンスの各種研修を実施しております。</li> </ul> <p>【きらやか銀行】 コンプライアンス研修2回／管理職対象研修1回／職場研修3回  【仙台銀行】 次長課長補佐対象研修1回／職場研修6回</p> <p>※期間：2024年4月～2024年9月</p>

## ④ 主要課題への取組み

### 主要課題 3 従業員の健康・労働環境への配慮や公正・適切な処遇

項目	取組み状況
健康・労働環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外労働時間の削減、勤務間インターバル制度、有給休暇の取得推進など、ワークライフバランスの実現に向けて勤務時間の適正な運用管理を実施しております。</li> <li>健康診断とストレスチェック（各年1回）、産業医・保健師等の相談窓口により、職員の心身の健康管理を実施しております。</li> </ul>
公正・適切な処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>「人材育成方針」に基づき人材育成に取り組むと共に、職員のキャリア形成を後押しするため「人材育成キャリアマップ」を策定しております。</li> <li>職員毎の目標管理、能力考課を柱とした人事考課制度を運用しております。</li> <li>併せて、職員の自発的な能力開発に向けたサポート体制を整備しております。</li> </ul>

### 主要課題 4 取引先との公正・適正な取引

項目	取組み状況
規程や担当部署等の体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンスマニュアル、利益相反管理方針等の制定（守秘義務、説明義務・適合性の原則、苦情・相談・トラブルへの対応、善管注意義務と顧客財産保護、顧客との癒着排除等）</li> <li>コンプライアンス委員会でのルール遵守状況チェック、問題事案への対応</li> <li>苦情受付窓口の設置</li> </ul>
研修を通じた職員への啓蒙	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンスプログラム、コンプライアンス研修の実施</li> </ul>

### 主要課題 5 自然災害等への危機管理

項目	取組み状況
事業継続体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業継続計画（地震発生、大規模災害、感染症発生時）を策定し、定期的に災害訓練を実施しています（年2回）。</li> <li>営業店への自家発電装置、止水板の設置など、災害に強い設備を整備しています。</li> </ul>
災害発生時の業務運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生時の銀行取引の特例措置への迅速な対応（現金払出し、小切手・手形決済、喪失通帳の再発行、各種手数料の減免等）</li> </ul>

## ⑤ 人事戦略、投資

### 人材育成の取組み

- 当社グループは、銀行業務の拡大や働き方改革が進展する中、様々な選択肢をもった人事制度を構築し、性別や採用経緯等に関わりなく、多様な人材が活躍し、能力を発揮できるよう人材育成に取り組んでおります。
- 研修受講やSBIグループとの人事交流については、公募制を導入するなど、職員に対して均等な教育機会を提供しております。

人材育成	取組み状況
能力開発	階層別研修、行内FPスクール、本業支援実践力行内認定資格制度（きらやか銀行）
女性の活躍促進	女性渉外の営業力強化・早期戦力化に向けた研修を両行で共催
外部連携	SBIグループとの人事交流の実施（トレーニー派遣、SBI地域生成AI研究会への参画）

	管理職に占める女性職員割合 (2024年10月1日現在)	正職員に占める 女性職員割合	新規採用職員に占める 女性職員割合
きらやか銀行	<b>10.5</b> % (13名/124名)	44.7% (302名/676名)	58.8% (10名/17名)
仙台銀行	<b>15.3</b> % (19名/124名)	47.1% (337名/715名)	46.4% (13名/28名)

目標：15%以上（2026年3月末）

<参考> 当社グループの女性役員は2名（うち社外取締役1名）となっております。  
 ・じもとホールディングス社外取締役監査等委員：1名      ・仙台銀行取締役監査等委員：1名

## ⑤ 人事戦略、投資

### 社内環境整備の取組み

- 当社グループは、少子高齢化、ポストコロナにおける社会経済の急変、DXの進展、新業務の拡大など環境変化が進展する中、スピード感をもって業務変革に取り組んでおります。
- これらの環境変化に対応するためには、性別等に関わりなく、働き甲斐と働きやすさ、自己実現ができる環境を整備することが必要であり、当社グループは、「育児や介護との両立支援」や「新たな働き方・人材育成」の環境整備を進めております。

育児・介護の支援	取組み状況
休業制度等	育児休業、介護休業、短時間勤務の支援制度を完備 不妊治療及びがん治療に使用できる「ヘルスサポート休業制度」の導入
社会全体での子育て支援	育児休業の取得を促進（男性職員の取得も推奨）
育児休業者へのフォロー	フォローアップセミナーの開催、職場復帰事前面談・研修の開催
職場への復帰支援	企業主導型保育施設の設置、企業主導型保育事業者との保育園利用提携
勤務エリア	居住地域から通勤可能な範囲での転勤に限定できる勤務エリア選択制度を運用
多様な人材の活躍支援	取組み状況
正社員登用制度	非正規職員から正職員への登用制度を運用
ベテラン職員の活躍支援	定年後もシニア職員として勤務が可能な制度を運用
専門人材の育成	専門性の高い業務に従事するSPコースと営業職に特化するFCコースを設定
若手職員活躍支援	指導員制度による新入行員指導、企業訪問研修「チャレンジダイバーシティ制度」 公募制の外部出向を通じた育成支援、「キャリア形成サポート面談」による若手のキャリア形成支援
キャリア・リターン制度	結婚、出産、育児、介護、転職等で退職した元職員の再雇用制度を運用
旧姓の継続使用	職員の婚姻等による改姓後も旧姓をビジネスネームとして使用可能に

## ⑤ 人事戦略、投資

### ワーク・ライフ・バランス関連指標

	きらやか銀行	仙台銀行
年次有給休暇取得率（2023年度）	59.4%	61.8%
平均残業時間（2023年度／月間）	10.2時間	9.3時間
平均勤続年数（2024年3月末現在）	男性：21.6年 女性：17.8年	男性：16.6年 女性：10.6年
男性の育児休業取得率（2023年度）※	112.5%	106.7%

※男性の育児休業取得率＝年度内に育児休業等を取得した男性労働者の数÷年度内に配偶者が出産した男性労働者の数

### 知的財産への投資

	主な実施状況
経営支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>きらやかマネジメントスクール（山形大学等と連携、次世代の地域経営者育成）／累計受講者191名（1～6期）</li> <li>仙台銀行ビジネスクラブ次世代経営塾／累計受講者数63名（1～4期）</li> </ul>
外部連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>SBIグループとの連携によるDX等の金融テクノロジーの導入、吸収</li> </ul>

## ⑤ 人事戦略、投資

### 主な表彰・認定実績

きらやか銀行

やまがた子育て・介護応援いきいき企業「優秀（ダイヤモンド）企業」  
やまがたスマイル企業「ダイヤモンドスマイル企業」  
山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰（2015年度）  
均等・両立推進企業部門山形労働局奨励賞（2015年度）  
山形県障害者雇用優良事業所表彰  
次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業「プラチナくるみん認定」  
イクボス宣言、やまがたイクボス同盟加盟

仙台銀行

宮城県 女性のチカラを活かす企業認証制度「ゴールド認証企業」  
宮城県いきいき男女にこここ子育て応援企業 最優秀企業  
宮城県・宮城労働局 魅力ある職場づくりモデル企業表彰  
次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業「プラチナくるみん認定」  
次世代育成支援対策推進法に基づく不妊治療と仕事との両立サポート企業「プラチナくるみんプラス」認定  
イクボス宣言、イクボス企業同盟・みやぎイクボス同盟加盟  
みやぎ働き方改革実践企業認証  
厚生労働大臣女性活躍推進法「えるぼし認定」  
仙台市障害者雇用貢献事業者表彰  
ベビーファースト運動参画

## ⑥ トピックス

### 組織風土改革プロジェクト（きらやか銀行）

- ◆ 当行をより良い組織にするため、役職員が一丸となり、組織を改革していくプロジェクトが始まりました。
- ◆ 職位・年齢・性別一切関係なく、公募により約30名のメンバーが、当行をより良くするための課題を自発的に洗い出し、改善するために取り組んでまいります。



### 公式SNSの開設（仙台銀行）

- ◆ 2024年8月、仙台銀行公式SNSアカウント（Youtube、Instagram、X）を開設いたしました。
- ◆ SNSでは役職員の働く様子や地域イベントの紹介などを発信しており、今後も積極的に情報発信してまいります。



### きらやかSDGs寄付型ローン（きらやか銀行）

- ◆ 当行では、取引先企業のSDGs・ESG啓蒙・啓発を通して持続可能な地域づくりに貢献するため、「きらやかSDGs寄付型ローン」を取扱っております。
- ◆ 2024年5月に、本商品において2024年3月末時点の融資実行総額の0.10%相当額である50万円をやまがた社会貢献基金に寄付をいたしました。
- ◆ 今後も、様々な商品やサービスの提供を通して、お客さまとともに地域社会の発展に貢献してまいります。



### リメイクしたイメージCMの放映（仙台銀行）

- ◆ 河口恭吾氏による「ただいま」の曲とともに、2007年に放映されていた当行イメージCMをリメイクし、2024年5月より放映しております。
- ◆ 当行の職員やお客さまに出演協力をいただき、地元宮城に貢献する当行の企業風土を感じていただける内容となっています。



本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比で異なる可能性があることにご留意ください。

《当資料に関するお問い合わせ先》

株式会社 じもとホールディングス  
総合企画部

TEL: 022-722-0011 (代表)  
<https://www.jimoto-hd.co.jp>